資料No.1

令和5年度 第3回 松戸市介護保険運営協議会資料

介護保険事業実施状況について

松戸市介護保険課 松戸市地域包括ケア推進課 松戸市高齢者支援課 2023/10/19

目 次

1.	松戸市、千葉県及び全国の高齢者数及び高齢化率	1	ページ
2.	要介護(要支援)認定者数の計画値と実績	3	
З.	要介護認定の状況	4	
4.	介護保険認定者数とサービス利用者数の推移	5	
5.	介護保険サービス利用者数の見込みと実績	6	
6.	指定事業者等の状況	7	
7.	地域支援事業の実施状況	8	
8.	介護保険料の賦課・徴収の状況	21	
9.	介護保険特別会計令和4年度決算状況について	22	

1. 松戸市、千葉県及び全国の高齢者数及び高齢化率(各年4月1日現在)

(単位 人)

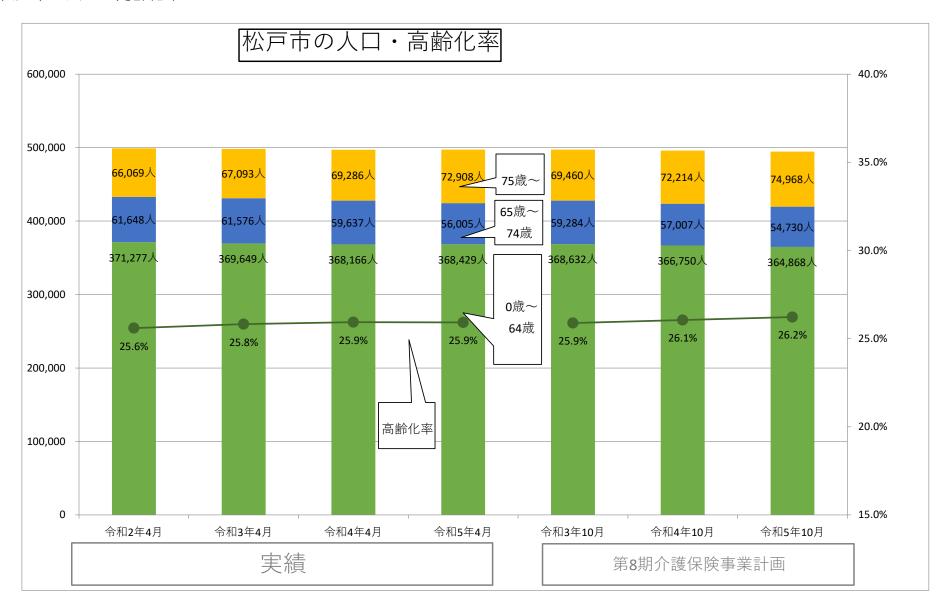
				令和2年4月1日	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日		の比較 -R4.4.1)
	人			498,994	498,318	497,089	497,342	253	0.05%
	高	齢者数		127,717	128,669	128,923	128,913	△ 10	-0.01%
松戸市		前期高齢者数	(65歳以上 75歳未満)	61,648	61,576	59,637	56,005	△ 3,632	-6.09%
		後期高齢者数	(75歳以上)	66,069	67,093	69,286	72,908	3,622	5.23%
	高齢化率		25.6%	25.8%	25.9%	25.9%	_	_	
	人			6,321,366	6,319,128	6,305,476	6,307,470	1,994	0.03%
	高齢者数			1,708,872	1,725,745	1,735,128	1,737,623	2,495	0.14%
千葉県		前期高齢者数	(65歳以上75歳未満)	851,679	857,255	834,335	788,825	△ 45,510	-5.45%
		後期高齢者数	(75歳以上)	857,193	868,490	900,793	948,798	48,005	5.33%
	高齢化率		27.0%	27.3%	27.5%	27.5%	_	_	
	人			125,960,000	125,410,000	125,190,000	124,470,000	△ 720,000	-0.58%
	高齢者数			36,050,000	36,300,000	36,260,000	36,190,000	△ 70,000	-0.19%
全国		前期高齢者数	(65歳以上75歳未満)	17,420,000	17,600,000	17,230,000	16,440,000	△ 790,000	-4.59%
		後期高齢者数	(75歳以上)	18,630,000	18,700,000	19,030,000	19,750,000	720,000	3.78%
	高			28.6%	28.9%	29.0%	29.1%	_	_

[※]松戸市人口については、住民基本台帳による。

[※]千葉県人口については、県統計課「千葉県年齢別・町丁字別人口」による。

[※]全国人口については、政府統計の総合窓口「年齢(5歳階級)、男女別人口」による。

・松戸市の人口・高齢化率

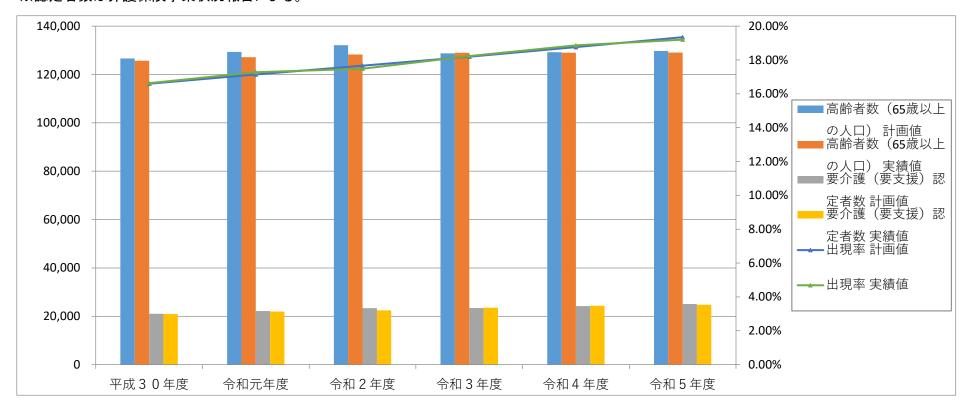


2. 要介護(要支援)認定者数の計画値と実績 (各年度 10月1日現在)

(単位 人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
京岭老粉(G5歩N Lの Lの)	計画値	126,621	129,346	132,078	128,744	129,221	129,698
高齢者数(65歳以上の人口)	実績値	125,704	127,163	128,267	129,016	128,994	129,058
要介護(要支援)認定者数	計画値	21,011	22,171	23,330	23,425	24,237	25,092
安月 6 (安义报) 邮准 日 级	実績値	20,902	21,963	22,419	23,545	24,339	24,780
出現率	計画値	16.59%	17.14%	17.66%	18.20%	18.76%	19.35%
山坑华	実績値	16.63%	17.27%	17.48%	18.23%	18.86%	19.20%

- ※高齢者数については、住民基本台帳による。
- ※認定者数は介護保険事業状況報告による。



3. 要介護認定の状況(各年度実績)

(1) 申請受付状況

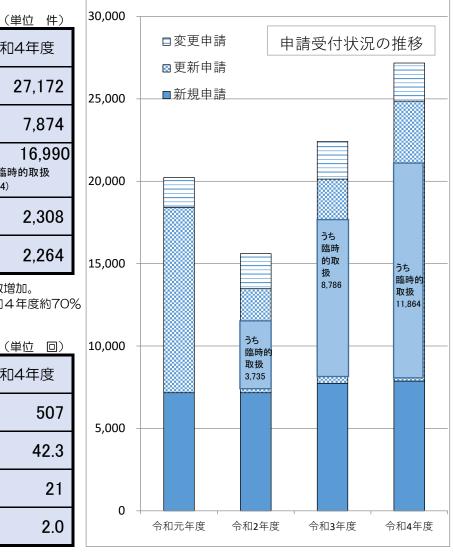
(曲位) 性)	(単位	†	(生)
---------	-----	--------------	-----

					(十四 11)
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
申	請件数	20,233	15,604	22,416	27,172
	新規申請	7,164	7,167	7,740	7,874
内訳	更新申請	11,237	6,316 (うち臨時的取扱 3,735)	12,394 (うち臨時的取扱 8,786)	16,990 (うち臨時的取扱 11,864)
	変更申請	1,832	2,121	2,282	2,308
月平均申請件数		1,686	1,300	1,868	2,264

[※] 平成30年度認定有効期間の上限が36ヶ月に延長されたことにより、令和3年度申請数増加。 更新申請のうち臨時的取扱いの割合は、令和2年度約59%、令和3年度約71%、令和4年度約70%

(2)介護認定審查会実施状況

				(十世 四/
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	479	449	481	507
月平均開催回数	39.9	37.4	40.1	42.3
部会数	21	21	21	21
1部会当たりの 月平均開催回数	1.9	1.8	1.9	2.0



[※] 平成30年5月25日審査会より、要介護認定等の簡素化を開始。

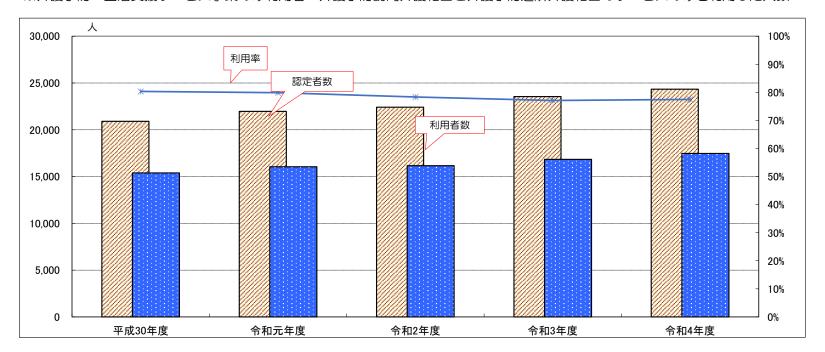
4. 介護保険認定者数とサービス利用者数の推移

介護保険認定者数とサービス利用者数の推移 (各年度 10月1日現在)

					<u> </u>
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認 定 者 数	20,902	21,963	22,419	23,545	24,339
介護(予防)サービス 利用者数	15,387	16,048	16,158	16,831	17,469
介護予防・生活支援 サービス事業のみ利用者数	1,404	1,500	1,409	1,321	1,393
利用者(計)	16,791	17,548	17,567	18,152	18,862
利 用 至	80.3%	79.9%	78.4%	77.1%	77.5%

(出位 1)

- ※認定者数は介護保険事業状況報告より
- ※介護予防・生活支援サービス事業のみ利用者:介護予防訪問介護相当と介護予防通所介護相当のサービスのみを利用した人数



5. 介護保険サービス利用者数の見込みと実績

(単位:人/月)

	サービスの種類	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値(A)	令和4年度 計画値(B)	計画値と実績値との 差(A) - (B)
介護サービス	訪問介護	4,148	4,318	4,146	172
	訪問入浴介護	270	277	254	23
	訪問看護	1,613	1,803	1,687	116
	訪問リハビリテーション	393	423	415	8
	居宅療養管理指導	4,813	5,090	4,917	173
	通所介護	3,965	4,234	4,117	117
	通所リハビリテーション	985	1,106	1,133	△ 27
	短期入所生活介護	789	899	947	△ 48
	短期入所療養介護	42	53	90	△ 37
	特定施設入居者生活介護	1,065	1,064	1,190	△ 126
	福祉用具貸与	6,570	7,092	6,706	386
	特定福祉用具販売	123	138	141	△ 3
	住宅改修	74	78	77	1
	居宅介護支援	9,753	10,462	10,129	333
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	0	2	1	1
	介護予防訪問看護	180	154	172	△ 18
	介護予防訪問リハビリテーション	50	55	54	1
	介護予防居宅療養管理指導	315	333	320	13
	介護予防通所リハビリテーション	305	307	337	△ 30
	介護予防短期入所生活介護	11	17	16	1
	介護予防短期入所療養介護	0	1	2	$\triangle 1$
	介護予防特定施設入居者生活介護	147	159	166	△ /
	介護予防福祉用具貸与	1,441	1,508	1,422	86
	介護予防特定福祉用具販売	37	27	37	△ 10
	介護予防住宅改修	38	39	48	△ 9
	介護予防支援	1,762	1,841	1,775	66
施設サービス	介護老人福祉施設	1,777	1,732	1,837	△ 105
	介護老人保健施設	1,037	1,053	1,059	<u> </u>
	介護療養型医療施設	66	43 97	72	△ 29
14.14	介護医療院	46		47	50
地域省有望サービス	夜間対応型訪問介護	0 45	0 39	<u> </u>	0 △ 16
	認知症対応型通所介護	45 175	39 176		
	小規模多機能型居宅介護(予防含む)	626	595	<u>225</u> 667	△ 49 △ 72
	認知症対応型共同生活介護(予防含む)	020			△ /2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	114	0 112	<u>0</u> 116	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	82	76	116 87	△ 4 △ 11
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 売業小規模を機能刑民党介護	82 188	192	221	
	看護小規模多機能型居宅介護	1.468	1,555	1,705	△ 29 △ 150
	地域密着型通所介護	1,408	1,355	1,705	△ 150

^{※10}月1日時点の値

[※]令和4年度計画値は、いきいき安心プランⅧまつどより

[※]実績値は介護保険事業状況報告より

6. 指定事業者等の状況(令和5年3月末現在)

(1) 介護予防支援事業者(地域包括支援センター)数

16 事業所

(2) 居宅介護支援事業者数

140 事業所

(3) サービス種類別の居宅サービス事業所数

	種類	介護事業所数	介護予防サービス 事業所数	総合事業 事業所数
1	訪問介護(ホームヘルプサービス)	139	-	70
2	訪問入浴介護	6	6	
3	訪問看護ステーション	56	56	
4	訪問リハビリテーション	3	3	
5	通所介護(デイサービス)	85	-	107
6	通所リハビリテーション(デイケア)	23	22	
7	短期入所生活介護(ショートステイ)	37	34	
8	短期入所療養介護(ショートステイ)	12	12	
9	福祉用具貸与	35	35	
10	特定福祉用具販売	37	37	
11	特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等での介護)	31	31	

(4) 地域密着型サービス事業者数

	種類	事業所数	予防サービス事業所
1	認知症对応型通所介護	4	4
2	小規模多機能型居宅介護	10	10
3	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	39	39
4	定期巡回•随時対応型訪問介護看護	6	-
5	看護小規模多機能型居宅介護(旧複合型サービス)	9	ı
6	地域密着型通所介護	72	-
7	療養通所介護	1	-
8	夜間対応型訪問介護	1	ı

※総合事業事業所数は上記通所介護 におけるみなし事業所数に含まれる。

	種類	事業所数	ベッド数
1	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特養)	4	116

(5) 施設数

	種類	事業所数	ベッド数
1	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	20	1,779床
2	介護老人保健施設	11	1,050床
3	介護療養型医療施設	0	0床
4	介護医療院	1	100床

※居宅療養管理指導は医療みなしのため未掲載

7. 地域支援事業等の実施状況(令和5年3月末現在)

地域支援事業とは(介護保険法第六章)

介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業及び、任意事業で構成される。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び、地域における自立した日常生活の支援のための施策を、総合的かつ一体的に実施する。

①介護予防・生活支援サービス事業

要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、介護予防訪問介護等のサービスに加え、住民主体の支援等も含め、多様なサービスを実施。

対象	事業	内 容	実施状況				
	要 訪問型サービス			平成 27 年 4 月から実施 R5.3 サービス利用分 (単位:人) 事業対象者 要支援 1 要支援 2 計			
要			92	354	552	998	
要支援1・2/	W31-91-27 C7 V	多様なサービス ・緩和型(A)と住民主体型(B)	平成 28 年 3 月から訪問型元気応援サービ 令和 4年度 利用数:緩和型(A) 933 人 住民主体型(B) 102 人 ※移動支援は、住民主体型(B)の中に位置 付き添い支援として実施			33人 3)102人	
/事業対象者	通所型サービス	従前の通所介護相当	平成 27 年 R5.3 サービ 事業対象者 353		施 要支援 2 975	(単位:人) 計 2,123	
		多様なサービス ・短期集中予防サービス (通所型 C)	平成27年10月から「いきいきトレーニング て単一型が開始。平成29年10月から機能引 開始。 令和4年度:参加者17人、中止1人				l l

その他の生活支援サービス	多様な主体による生活支援サービス	未実施
	高齢者の自立支援及び介護予防推進に向けて、	
介護予防ケアマネジメント	適切な介護予防ケアマネジメントのために、介	第2回運営協議会にて報告済み
	護支援専門員の資質向上を図る。	

②一般介護予防事業

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域において自立支援に資する取組を推進し、要介護状態となっても生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指す。

対象	事業	内 容	実施状況			
N 65歳以上の人	争 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	同学者のための調査 65歳到達者のうち一般高齢者に実態把握調査を実施。回答者の希望があった方の情報は、地域包括支援センターに提供し対応。 75歳到達者のうち一般高齢者に実態把握調査を実施。未回答者には松戸市民生委員児童委員協議会の協力による訪問調査を実施。 なお、回答者の同意があった方の情報は、民生委員・地域包括支援センターに提供し対応。	①令和4年6月ご 発送者人数 回収数(締切迄) 民生委員訪問後 有効回答 ②令和4年8月~ 75歳ででで認をでいます。 訪問調査件数 ③アンケート第四 動門のは情報として、 は、内は情報を表して、 は、内は情報を表して、 に、内は、内は、日本で、 に、内は、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で	ろ・・・アン 65歳 4,569人 3,417人 一 3,409人 10月ごろ ート未回答者 まえた訪問調 65歳 一 結果報告書を	75歳 4,884人 4,436人 4,870人 4,869人 に対して、民生 査を実施 75歳 448件	

		広報、各種パンフレット等で情報提供	市役所、地域包括支援センター、介護関係の講演会等で配布、広報掲載
		介護予防教室等の実施	第2回運営協議会にて報告済み
介語	介護予防普及啓発事業	意識啓発や醸成のための講演会等を検討	平成27年12月から元気応援キャンペーン開始 登録数129団体(独自サービス23、コンテンツの 提供4、活動場所の提供20、元気応援くらぶ82) 市民向け認知症講演会の開催(5月14日) 内容:認知症ポジティブ! 予防と共生〜発症を遅ら せつつ、安心して暮らせるまちを目指して〜 専門職向け認知症研修会の開催(10月6日) 内容:認知症の方を地域で支えるために専門職に期待 すること〜個別支援と連携〜
事業	地域介護予防活動支援 事業 ※令和3年度より重層 的支援体制整備事業と して実施	居場所や介護予防に資する活動	○企業・団体・個人等から「通いの場」の活動場所の 提供 平成 27年12月から実施:20箇所 ○通所型元気応援くらぶ 平成 28年3月から実施:82団体
的艺		社会参加及び地域貢献するとともに、高齢者の自ら健康 増進を図り介護予防につなげることを目的としたボラ ンティア活動	 ○介護支援ボランティア制度の実施 ・平成29年度より対象者及び受入機関を拡大 対象者:松戸市在住の高齢者 (要介護認定等の有無は問わない) ▶ 受入機関:高齢者関連施設・子ども関連施設・障害関連施設

1		
		・平成31年度より特別養護老人ホームの入所者によ
		る介護支援ボランティアを開始。
		• 令和 4 年度よりグリーンスローモビリティ地域推進
		事業の開始に伴い、運転手及び運転手補助員をボラン
		ティアポイントの付与対象として追加。
		・ボランティア登録人数: 619 人(うち入所者 29
		人、グリスロ関係 58 人)活動者 114 人(うち入所
		者 15 人、グリスロ関係 48 人)
		• 受入機関:99 か所
		〇平成 29 年度~令和 4 年度
		プロボノ(仕事の経験やスキルを活かしたボランテ
		ィア)ワーカーが、地域団体の課題に対して短期間
		で具体的に解決する取組みを実施。令和 4 年度は
		「プロボノ MATSUDO2O22」を実施し、ボラン
		ティア (プロボノワーカー) 11 人が 8 団体を支援。
	住民主体の介護予防に資する活動を推進し、さらにその	
	介護予防の効果について科学的根拠を千葉大学予防医	
ᅃᄼᆇᇰᇠᆂᄴᆖᄺ	学センター及び一般社団法人日本老年学的評価研究機	○平成 28 年度~令和4年度(毎年1回)
一般介護予防事業評価	構と共に研究(検証)する	一般高齢者向け調査「健康とくらしの調査」を実施
事業	※千葉大学予防医学センター及び一般社団法人日本老年	
	学的評価研究機構との共同研究によるエビデンスを持っ	
	て、都市型介護予防モデルの標準を確立する	

地域リハビリテン活動支援事業	ーショ	ケアマネジャー (介護予防) 対象のリハビリ専門職によるアセスメント支援	平成 28 年 11 月から開始(非常勤理学療法士) 平成 29 年 10 月から市内2事業所に業務委託をして 実施。 令和 2 年度~ 新型コロナウイルスのため事業中止中
----------------	-----	--------------------------------------	---

(2) 包括的支援事業

地域包括ケアシステムの構築のため、包括的支援事業の「在宅医療・介護連携の推進」「認知症施策の推進」 「地域ケア会議の推進」「生活支援サービスの体制整備」に係る事業を充実させる。

事業等	内 容	実績・実施状況
地域包括支援センターの運営 ※令和3年度より重層的支援体制整備事業として実施	高齢者の総合相談、介護予防、権利擁護、包括的継続 的ケアマネジメント	第2回運営協議会にて報告済み
地域ケア会議の推進	地域包括支援センターが開催し、個別事例の検討を通 して、地域のネットワークの構築、ケアマネジメント 支援、地域課題の把握及び解決への取組	第2回運営協議会にて報告済み
在宅医療•介護連携推進事業	地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制を構築(松戸市医師会に委託) ア:地域の医療・介護の資源の把握イ:在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討ウ:切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 エ:医療・介護関係者の情報共有の支援オ:在宅医療・介護連携に関する相談支援カ:医療・介護関係者の研修キ:地域住民への普及啓発ク:在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	・通所介護事業所のハンドブック作成 ・地域ケア会議のレポートの分析 ・医療、介護、行政関係者等が参画する会議を開催 ・在宅医療への新規参入支援の実施 ・新規相談支援件数 181件 ・アウトリーチ(訪問支援)件数 32件 ・自分にふさわしい「かかりつけ医療機関」や「主治医」の選び方をテーマに市民向け講演会を開催 ・医療、介護関係者を対象にアウトリーチ事例検討会を開催 ・地域ICTシステム充実のための検討 ・市民向け講義スライドを作成し、講義提供を1回行った。(内容:フレイル予防、薬に関すること、介護施設について、健康と運動等)

	翌知庁の上が家族の主揺は制べてい			
	認知症の人や家族の支援体制づくり 			
認知症施策推進事業	① 脳和症初期条中又接テーム 平成 27 年 9 月からチーム稼動開始	• 令和4年度実績		
	一次 27 年 9 月 20 7 日 3 8 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	委託型包括チーム(15 チーム)54 事例		
	国の基準を満たす専門医及び研修を受けた専門職で構	訪問回数(15 チーム計)163 回(延数)		
	成されるチームを設置			
		・令和4年度実績 市職員4名 包括職員46名		
	②認知症地域支援推進員	・アルツハイマー月間に普及啓発活動を実施		
	事業の企画調整等)を行う、養成を受けた専門職の配	(市役所連絡通路でのパネル展等)		
		・オレンジ協力員とともに認知症カフェや見守り		
		パトウォーク等を随時実施		
	介護予防・日常生活支援総合事業の推進のための生活支			
	援体制の整備	令和4年度実績		
	・平成30年度:支え合う地域づくり勉強会や高齢者支			
	援連絡会などの住民主体の取組みと連携を図りつつ、	第1層 協議体(松戸市地域ケア会議)2回実施		
4- \ 7 +\ \ 7- 1 \ 1 \ 7- 1 \ 1	地域ケア会議(松戸市地域ケア会議、地域包括ケア推	第2層 協議体(地域包括ケア推進会議)28回実施		
生活支援サービス体制整備 東世	進会議)など既存の会議の枠組みを活用して協議体に	・スマートフォン使い方相談会の開催、要配慮者		
事業 ※令和3年度より重層的支	係る議論を実施。 ・令和元年度:第2層生活支援コーディネーターとして、	要支援者に対する避難行動・支援内容の確認、		
援体制整備事業として実施	・ TAUNTR ・ 第2層主治文族コーティネーターとして、 新たにまつど NPO 協議会に業務委託し、地域のコー	公園 DE 体操&ウォーキング、みんなの椅子プ		
接体削強哺争業として美胞	対にになって N O 励威公に来勿安記 O 地域のコーディネート機能の充実を図った。	ロジェクト等、2層ワーキングでの活動を実施		
	・今和2年度より、これまでの第2層生活支援コーディ	・各地区で地域づくり交流会を開催		
	ネーターを見直し、まつど NPO 協議会に一本化した。	・全地区を対象とした報告会を開催		
	コロナ禍においても、2層ワーキング等を通じ、地域			
	課題を把握し、各地区で地域づくり交流会を開催。			

(3) 任意事業

- ①介護給付費適正化事業 介護給付及び予防給付に係る費用の適正化を図る。
- ②家族介護支援事業 要介護者の介護を行う家族等に対し、必要な支援を行う。

事業等		内容		R2	R3	R4
家族介護継続支援事業	家族介護慰労金 介護サービスを利用せず在宅で介護をしている 支給業務 家族への慰労金		利用者数	4人	4人	7人
介護教室 の開催	家族介護講座	実際に在宅で介護を行う方法や心構えを学ぶた めの講座 参加者数		○ 人 ※新型コロナウイル スの影響で実施なし	○ 人 ※新型コロナウイルス の影響で実施なし	16人
	徘徊高齢者家族 支援業務	徘徊高齢者の位置情報を探索できる機器の利用 料の助成	利用者数(年度末)	3人	5人	11人
認知症高齢 者見守り事 業	あんしん一声	①オレンジ声かけ隊 認知症サポーター養成講座を受けた方の中で 「あんしん一声運動」に賛同した個人・団体	登録延数	3,786 人 227 団体 辞退者あり	3,962 人 210 団体 辞退者あり	4,106 人 210 団体 辞退者あり
	(上到不)	②オレンジ協力員 オレンジ声かけ隊の中で、更に積極的に実践活動をするボランティア	登録者延数	946 人 辞退者あり	1,055 人 辞退者あり	1,103 人 辞退者あり

※家族介護用品支給業務(在宅で紙おむつを利用し介護している家族への支援)・・・令和3年度より保健福祉事業にて実施 R4年度 利用枚数 18,916枚

③その他の事業

事業等	内 容	指標	R2	R3	R4
成年後見制度利用支援事業	制度の普及啓発、関係機関との連携による申立の支援	利用者数	第2回運営協議会にて報告済		報告済み
認知症サポーター等養成講座	認知症に関する正しい知識と対応の基本的な心構えを普及・啓発するために、地域や学校、職域など幅広く様々な年代に対して講座を開催	受講者延数 講座実施数/年			
地域自立生活支援事業	地域自立生活支援事業				
高齢者の安心な住まいの確何	高齢者の安心な住まいの確保に資する事業				
シルバーハウジング 生活援助員派遣業務	高齢者向け市営住宅へ生活援助員を派遣し、 日常生活の援助等を行う	1世帯あたりの相談件数	32.0 🗆	29.9 🗆	31.1 🗆
介護サービスの質の向上に	資する事業				
介護相談員派遣事業	介護施設等を訪問し、利用者の相談に応じる等によりサービスの質の向上を図る ※P2O参照	派遣施設数	81 施設	81 施設	83 施設
地域資源を活用したネットの	地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業				
配食サービス業務	外出及び食事の用意が困難な高齢者に夕食を 届けることにより安否確認を行う	利用者数	203人	202人	196人
緊急通報装置貸与事業	独居高齢者に対し、急病等の緊急時の通報や 相談等ができる機器を貸与する	利用者数	1,352人	1,305人	1,328人

【介護給付費適正化事業(令和5年3月末現在)】

国が進めている5つの「適正化主要5事業(★)」については、松戸市では現在、すべて取り組んでいる。

(1) 要介護認定の適正化 ★

- 新規の認定調査は、法律の規定のとおり、原則市職員が実施。(令和4年度:5,913件)
- ・変更申請の認定調査の市職員による実施。
- ・委託している認定調査票のチェック・点検をすべて市職員等が実施。(令和4年度:3,269件)
- ・認定調査の質の向上を目的として、市開催の研修会を実施。

〔研修実施状況〕	R1	R2	R3	R4
 	10	20	20	20
添足的且具机况切修	61人	32人	33人	29人

(2) ケアマネジメント等の適正化

① ケアプランの点検 ★

事業所に訪問し、事前提出のあった介護支援専門員1人につき1ケースの事例を用いて、算定確認シートを作成する。利用者を取り巻く環境やADLについて聞き取りを行い、参加者全員で内容を検討しながら実施することで、介護支援専門員の気づきを促し、根拠あるケアプランの作成手法における普遍化を目指す。

平成29年度までは運営基準に沿ったプラン作成の有無についても確認していたことから、運営基準減算による返還があった。

平成30年度より居宅介護支援事業所の指定権限が県から市に移譲され、運営基準は実地指導にて確認している。

〔実施状況〕	R1	R2	R3	R4
実施事業所数	40	6	30	73
うち返還があった事業所数※	0	0	0	0

※平成29年度までは、運営基準減算等による返還を含む

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、縮小して実施。

② 研修会の実施

〔実施状況〕		R1	R2	R3	R4
居宅介護支援事業者研修会	居宅介護支援事業者研修会 市職員による		なし※1	なし※1	なし※1
	外部講師による	2月7日 130事業所(248人)	なし ※2	2月15日 125事業所(234人)	1月12日 67事業所(112人)
	(主任CM対象)	1月20日 40事業所(49人)	2月9日 35事業所(41人)	なし※2	2月13日 40事業所(45人)
介護支援専門員協議会研修会	外部講師			10月30日 67人 オンライン開催	10月15日 _{※3} 65人 オンライン開催

- ※1 平成30年度より居宅介護支援事業所の権限が県から市へ移譲された為、同時期に集団指導を実施。
- ※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。
- ※3 介護支援専門員協議会研修会 講師:千葉県介護支援専門員協議会 副理事長 井上 創 氏

内容:「これからのケアマネジャーに求められているもの」

~次期改定に向けて考えておくべきこと~

③ 住宅改修等の点検 ★

すべての事前申請及び事後申請について、被保険者の疾患、既往歴、麻痺や筋力低下の有無、移動の状況、家族状況、家屋状況、サービス利用状況などを、認定調査票、主治医意見書、サービス利用実績などから把握した上で、提出された住宅改修が必要な理由書の内容、図面、工事前写真を確認し、工事内容とその必要性が妥当であるかを書類で審査している。また、必要に応じて、担当ケアマネジャー、施工業者に連絡を取り、工事内容の詳細や、被保険者の現状の身体状況を確認している。そのうち、特に必要と認められるものについては、現地確認を行い、住宅改修の必要性を確認している。

(3) 事業所のサービス提供体制及び介護報酬請求の適正化

① 縦覧点検・医療情報との突合等(国保連合会の介護給付適正化システムの活用による点検) ★ 国保連合会から提供されるデータを活用し、疑義のある請求に関して事業者へ確認する。

〔令和4年度 実施状況〕		居宅介護支援費 の請求確認	軽度者に対する福 祉用具貸与確認	短期入所サービ ス利用者の請求	医療費と介護情 報の突合
照会実施数	件数	154	20	22	92
照 云 天 厄 奴	事業所数	97	6	19	62
うち返還となった	件数	32	17	0	59
もの	金額(円)	446,918	36,628	0	732,267

② 介護給付費通知 ★

介護サービスを受けている利用者に、一年間の利用実績として「介護給付費通知書を送付し、実際に使用したサービスとの整合性を確認していただくとともに、年間の費用額を認識していただく。(毎年2月発送)

	R1	R2	R3	R4
発送数	21,971	22,337	22,986	23,790

(4) 給付実績の活用

適正化主要5事業の推進と合わせ、国保連合会から提供される給付実績に係る帳票を活用し、適正化を図る。 なお、給付実績の活用は、保険者機能強化推進交付金の評価指標になっていることから、平成30年度から 実施するものとする。

〔令和4年度 実施状況〕

実施時期 令和5年2月

内容の概要 認定調査状況と利用サービス不一致一覧表に記載されている(看護)小規模多機能型認知症 加算 I • II に係る請求についての確認を実施。

結果 2事業所5件 返還額 42,384円(令和3年8月~令和4年7月サービス提供分)

【介護サービス相談員派遣事業(令和5年3月末現在)】

(1) 目的

介護サービス相談員を施設の規模に応じ1名から3名程度、1施設に月1回程度派遣し、日常的な生活 や行事に参加するなかで、利用者の相談に応ずることで、利用者の疑問・不満や不安の解消を図り、苦 情に至る事態を未然に防ぐとともに、サービスの質の向上を図る。

(2) 活動内容

- ・介護サービスの事業所を訪問し、介護サービスの現状を把握する。
- 介護サービス利用者の相談に応ずる。
- ・ 事業所の管理者や介護相談員担当者と意見交換をする。
- ・事業所の行う行事に参加する。
- ・介護サービス相談員連絡会(年8回程度)に参加する。
- ・三者(施設・相談員・事務局)合同意見交換会(年1回)に参加する。

(3) 介護サービス相談員派遣受託施設

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護老人福祉施設(地域密着型含む)	24 ヶ所	24 ヶ所	24 ヶ所
介護老人保健施設	12 ヶ所	12 ヶ所	11 ヶ所
認知症対応型共同生活介護	36 ヶ所	36 ヶ所	36 ヶ所
短期入所生活介護	9 ヶ所	9 ヶ所	9 ヶ所
住宅型有料老人ホーム			3 ヶ所
合 計	81 ヶ所	81 ヶ所	83 ヶ所

(4)介護サービス相談員数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護サービス相談員数	30 人	26 人	19 人

8. 介護保険料の賦課・徴収の状況

(1) 令和4年度 介護保険料収納状況(令和5年3月末現在)

(単位:円)

	当初予算額(A)	補正予算額(B)	予算現額(A)+(B)	調定額(C)	収入済額(D)	不納欠損額(E)	収入未済額	収約	率
	当例了异创(A)	伸止了异创(B)	了异功创(A)+(B)	in/上台(C)	以入済创(D)	个 附入 担 供 (E)	(C)-(D)-(E)	対予算額	対調定額
現年度	8,220,096,000	▲ 10,688,000	8,209,408,000	8,351,934,050	8,286,899,300	0	65,034,750	100.94%	99.22%
過年度	20,000,000	0	20,000,000	201,588,427	26,651,612	68,583,470	106,353,345	133.26%	13.22%
合 計	8,240,096,000	▲ 10,688,000	8,229,408,000	8,553,522,477	8,313,550,912	68,583,470	171,388,095	101.02%	97.19%

(2) 令和4年度 所得段階別被保険者数(令和5年3月末現在) ※人数は令和4年度保険料賦課人数:年度途中・資格取得・喪失含む

所得段階	所 得 区 分	保険料算出方法	月額(円)	人数(人)	比率
第1段階	・老齢福祉年金受給者で、市民税世帯非課税の人 ・生活保護を受給している人 ・世帯全員が市民税非課税で前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下 の人	基準額×0.28	1,570	22,837	17.1%
第2段階	・世帯全員が市民税非課税で前年の合計所得金額+課税年金収入額が120万円以下の人	基準額×0.43	2,410	9,991	7.5%
第3段階	・世帯全員が市民税非課税で、第1段階・第2段階に該当しない人	基準額×0.67	3,750	9,886	7.4%
第4段階	・世帯に市民税課税の方がいて、本人が市民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	基準額×0.9	5,040	17,208	12.8%
第5段階	・世帯に市民税課税の方がいて、本人が市民税非課税で4段階に該当しない人 基準額	基準額×1.0	5,600	16,073	12.0%
第6段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が120万円未満の人	基準額×1.1	6,160	16,218	12.1%
第7段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が120万円以上で、200万円未満の人	基準額×1.25	7,000	18,990	14.2%
第8段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が200万円以上で、300万円未満の人	基準額×1.5	8,400	10,265	7.7%
第9段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が300万円以上で、400万円未満の人	基準額×1.6	8,960	4,830	3.6%
第10段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が400万円以上で、500万円未満の人	基準額×1.7	9,520	2,254	1.7%
第11段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が500万円以上で、600万円未満の人	基準額×1.9	10,640	1,210	0.9%
第12段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が600万円以上で、700万円未満の人	基準額×2.05	11,480	759	0.6%
第13段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が700万円以上で、800万円未満の人	基準額×2.15	12,040	539	0.4%
第14段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が800万円以上で、900万円未満の人	基準額×2.25	12,600	406	0.3%
第15段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が900万円以上で、1,000万円未満の人	基準額×2.35	13,160	335	0.3%
第16段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が1,000万円以上で、1,500万円未満の人	基準額×2.45	13,720	1,000	0.7%
第17段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が1,500万円以上で、2,000万円未満の人	基準額×2.55	14,280	408	0.3%
第18段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が2,000万円以上の人	基準額×2.75	15,400	732	0.5%
合 計				133,941	100.00%

〇所得段階の設定は今期においても18段階を継続し、保険料基準額は前期5,500円から今期5,600円に変更。 〇また、所得水準に応じたきめ細やかな保険料設定を行うため、第12段階から第18段階の保険料率が各0.05引き上がるとともに、低所得者の保険料軽減として第1段階から第3段階までの保険料率の軽減を前期から継続して実施。

9 介護保険特別会計令和4年度決算状況について

介護保険特別会計(決算) 概要説明図 ※比率は日安です

歳入(財源) 歳 出 令和4年度 市 10.3億円 (職員給与費等繰入金) 総務費 8.3億円 (職員人件費:認定審査会費等) 保険給付費の 25% (介護給付費負担金) 地域支援事業 86.5億円 (調整交付金) 公費 50% 保険給付費の 12.5% 県 地域支援事業 55億円 (介護給付費負担金) 交付金 保険給付費の 12.5% 地域支援事業 市 保険給付費 358.9億円 (介護給付費繰入金) 費繰入金 47.9億円 第2号被保険者 保険給付費の 27% 地域支援事業 100.7億円 (介護給付費交付金) 支援交付金 保険料 50% 第1号被保険者 保険給付費の 23% 83.1億円 (介護保険料) 地域支援事業費 12.3億円 市 11.3億円(介護給付費等準備基金取り崩し・低所得者保険料軽減負担繰入金他) (介護予防事業 11.1億円/包括的支援事業等 1.2億円) 保健福祉事業費、基金積立金・諸支出金 10.4億円 市 9.3億円 (繰越金:R3年度剰余金相当) (準備基金への積立、国県市等への返還金(R2年度分)、保険料還付) 歳入収入済額 404.1億円 歳出決算額 389.9億円 剰余金 14.2億円 令和5年度 国・県・市・支払基金への返還金 介護給付費等準備基金 3.2億円 11億円

令和4年度 松戸市介護保険特別会計 決算案(総括)

	 /
_	
	_
7	<i>~</i>

(歳入) (単位 円) 款 説明 目 当初予算 決算額 説明 当初予算 予算現額 収入済額 款 予算現額 不用額 調定額 介護保障 1 介護保険料 1 第1号被保険者保 1 現年度分 1 総務費 総務管理費 - 般管理費 8,220,096,000 8,209,408,000 8.351.934.050 8,286,899,300 550.641.000 550,729,000 535,469,434 15,259,566 2 渦年度分 2 徴収費 賦課徴収費 20,000,000 20,000,000 201,588,427 26,651,612 40,153,000 40,153,000 35,282,075 4,870,925 2 滞納処分費 款 計 8,240,096,000 8,229,408,000 8,553,522,477 8,313,550,912 3,000 3,000 0 3,000 2 使用料及 2 手数料 1 総務手数料 1 総務手数料 1,000 1,000 40.156.000 300 300 項 計 40.156.000 35,282,075 4.873.925 **『手数料** 国庫負担金 3介護認定審査会費 介護認定審査会費 国庫支出 介護給付費負担金 現年度分 6,660,914,000 6.660.914.000 6.928.487.369 6.928.487.369 440,647,000 440,647,000 259.080.148 181.566.852 2 国庫補助金 1 調整交付金 4 運営協議会費 運営協議会費 調整交付金 1,314,870,000 1.316.953.000 1,220,486,000 1,220,486,000 745,000 745,000 532,494 212,506 2 地域支援事業交付 1 現年度分 5 趣旨普及費 趣旨普及費 363,403,000 363,403,000 356,818,540 356,818,540 3,900,000 3,900,000 3,380,304 519,696 3 保険者機能強化推 1 保険者機能強化推 1.036.177.000 833.744.455 202,432,545 72,701,000 72,701,000 72,701,000 72,701,000 款 計 1.036.089.000 進交付金 進交付金 4 介護保険保険者努 1 介護保険保険者努 2 保険給付 1 介護サービス等諸 1 介護サービス等諸 64,647,000 64,647,000 64,647,000 64,647,000 34,030,488,000 34,029,680,700 33,449,117,838 580,562,862 力支援交付金 力支援交付金 5 介護保険事業費補 1 事業費補助金 介護予防サービス 1 介護予防サービス 0 3,710,000 3,710,000 3.710.000 741,477,000 741,477,000 699,923,018 41.553.982 6 災害臨時特例補助 1 災害臨時特例補助 3 高額介護サービス 1 高額介護サービス 0 1.102.666.000 116,000 116,000 116,000 1,102,666,000 961,397,691 141.268.309 4 高額医療合算介護 1 高額医療合算介護 款料 8,476,535,000 8,482,444,000 8,646,965,909 8,646,965,909 214,457,000 214,457,000 140,009,041 74,447,959 サービス等費 サービス等費 4 支払基金 | 1 支払基金交付 | 1 介護給付費交付金 | 1 現年度分 5 特定入所者介護 1 特定入所者介護 9.944.400.000 9.944.400.000 9,716,188,000 9.716.188.000 710,919,000 710,919,000 603.864.165 107.054.835 ナービス等費 サービス等費 交付金 2 地域支援事業支援 1 現年度分 6 その他諸費 審查支払手数料 356,452,000 356,685,000 31,105,000 31.912.300 356,686,000 356,686,000 31,912,300 0 款 計 10,300,852,000 10,301,085,000 10,072,874,000 10,072,874,000 款 計 36,831,112,000 36,831,112,000 35,886,224,053 944,887,947 3 地域支援 1 介護予防・生活支 1 介護予防・生活支 事業費 援サービス事業費 援サービス事業費 5 県支出金 1 県負担金 1 介護給付費負担金 1 現年度分 5,309,196,000 5,309,196,000 5,308,618,013 5,308,618,013 1,074,790,000 1,074,790,000 950,224,665 124,565,335 2 介護予防ケアマネ 2 県補助金 1 地域支援事業交付 現年度分 190,952,000 190,952,000 190,648,695 190,648,695 158,189,000 158,189,000 111,549,152 46,639,848 ジメント事業費 款 計 5,500,148,000 5,500,148,000 5,499,266,708 5,499,266,708 1,232,979,000 1,232,979,000 1,061,773,817 171,205,183 2 一般介護予防事業 1 一般介護予防事業 |財産運用収入 | 1 利子及び配当金 預金利子収入 1,000 1,000 304,048 57,021,000 57,021,000 49,629,851 財産収入 304,048 7,391,149 -般会計繰入 1 -般会計繰入金 3 包括的支援事業· 包括的支援事業費 介護給付費繰入金 4,603,889,000 4,603,889,000 4,603,889,000 4,603,889,000 2,215,000 繰入金 2,215,000 1,600,843 614,157 職員給与費等繰力 2 包括的・継続的ケア、 ネジメント支援事業費 352,000 1,036,089,000 1,032,467,000 1,032,467,000 1,032,467,000 352,000 352,000 Λ 3 任意事業費 3 地域支援事業費繰 190,953,000 190,953,000 190,953,000 190,953,000 91,466,000 91,466,000 71,571,588 19,894,412 4 在宅医療·介護連 4 その他一般会計繰 1,000 1,000 1,000 41,407,000 41,407,000 41,402,424 4,576 1,000 携推進事業費 5 認知症総合支援事 6 低所得者保険料 477,792,000 497,130,000 497,129,000 497,129,000 17,076,000 17,076,000 5,261,030 11,814,970 6 重層的支援体制 整備事業繰入金 0 14,172,000 14,172,194 14,172,194 152,516,000 152,516,000 119.835.885 32,680,115 4 その他諸費 1 審査支払手数料 6.308.724.000 6.338.612.000 6.338.611.194 6.338.611.194 3.937.000 3.937.000 3.062.550 874,450 2 基金繰入金 1 介護給付費等準備 1 介護給付費等準備 1,234,302,103 705,861,000 583,348,000 583,348,000 583,348,000 款 計 1,446,453,000 1,446,453,000 212,150,897 基金繰入金 基金繰入金 4 保健福祉 705.861.000 583,348,000 583,348,000 583,348,000 保健福祉事業費 1 保健福祉事業費 40.196.000 40,501,000 40.040.836 460,164 款 計 7,014,585,000 6,921,960,000 6,921,959,194 6.921.959.194 40.196.000 40,501,000 40.040.836 460,164 #by 91 5 基金積立 1 介護給付費等準備 繰越金 繰越金 繰越金 前年度繰越金 25,000,000 928,114,000 928,114,328 928,114,328 基金積立金 1.000 1.000 1,000 0 基金積立金 諸収入 1 延滞金、加算 1 第1号被保険者延 延滞金 1.000 1,000 1,000 1.000 786,210 1,000 0 金及び過料 786.210 款 計 2 第1号被保険者加 6 諸支出金 1 償還金及び還付加 加質金 1,000 1,000 0 0 15,001,000 606.033.000 603.030.686 3.002.314 2 第1号被保険者還 3 過料 過料 1,000 1.000 0 0 10,000 10,000 1.300 8,700 付加算金 2 市預金利子 1,000 1,000 4,710 4,710 項針 15,011,000 606,043,000 603,031,986 3,011,014 3 雑入 1 雑入 1,000 1,000 276,207 276,207 繰出金 他会計繰出金 178,362,000 392,787,000 392,786,171 829 2 第三者納付金 3 災害臨時特例補助 1,000 1,000 10,987,064 93,000 10,987,064 0 93,000 0 2 返納金 0 0 18,914,231 18,914,231 赦計 193,373,000 998,923,000 995,818,157 3,104,843 款 計 6,000 6,000 30,968,422 30,968,422 7 予備費 1 予備費 1 予備費 10,000,000 10,000,000 10,000,000 0 歲入合計 歳出合計 39,557,224,000 40,363,167,000 40,653,975,386 40,414,003,821 39,557,224,000 40,363,167,000 38,990,130,604 1,373,036,396 24

令和4年度 地域支援事業費決算案

参考

		当初予算額	予算現額	決算額	不用額
	支援サービス事業費	1,232,979,000	1,232,979,000	1,061,773,817	171,205,18
介護予	防生活支援サービス事業費	1,074,790,000	1,074,790,000	950,224,665	124,565,33
	訪問型サービス事業	273,848,000	273,848,000	232,333,903	41,514,09
	通所型サービス事業	795,074,000	795,074,000	714,309,357	80,764,64
	高額介護サービス等給付事業	2,569,000	2,569,000	1,700,406	868,59
	高額医療合算介護サービス等給付事業	3,299,000	3,299,000	1,880,999	1,418,00
介護予	防ケアマネジメント事業費	158,189,000	158,189,000	111,549,152	46,639,84
	介護予防ケアマネジメント事業費	158,189,000	158,189,000	111,549,152	46,639,84
一般介護予防事	業費	57,021,000	57,021,000	49,629,851	7,391,14
一般介	護予防事業費	57,021,000	57,021,000	49,629,851	7,391,14
	介護予防把握事業	9,550,000	9,550,000	8,005,209	1,544,79
	介護予防普及啓発事業	33,952,000	33,952,000	28,391,671	5,560,32
	地域介護予防活動支援事業 ※1	0	0	0	
	一般介護予防事業評価事業	12,969,000	12,969,000	12,917,851	51,14
	地域リハビリテーション活動支援事業	550,000	550,000	315,120	234,88
包括的支援事業		152,516,000	152,516,000	119,835,885	32,680,11
	支援事業費	1,590,000	1,590,000	892,429	697,57
	包括的継続的ケアマネジメント事業	352,000	352,000	0	352,00
	権利擁護事業	1,238,000	1.238.000	892,429	345,57
	地域包括支援センター事業 ※1	0	0	0	0.0707
任意事		91,466,000	91,466,000	71,571,588	19,894,41
12.00.7	介護給付等費用適正化事業	4,929,000	4,929,000	4,380,998	548,00
	老人福祉施設等利用サービス供給事業	5.838.139	5,838,139	5,838,139	5 .0700
	高齢者日常生活支援事業	14,564,000	14,564,000	9,386,433	5,177,56
	配食サービス業務	11,552,000	11,552,000	8,518,076	3,033,92
	家族介護慰労金支給業務	1,001,000	1,001,000	700,356	300,64
	家族介護用品支給業務 ※2	0	0	0	222/2
	家族介護支援業務	2,011,000	2,011,000	168,001	1,842,99
	介護保険円滑化事業	5,149,861	5,149,861	78,624	5,071,23
	介護相談員派遣業務	5,149,861	5,149,861	78,624	5,071,23
	高齢者成年後見制度利用支援事業	20,205,000	20,205,000	18,973,692	1,231,30
	安心電話サービス事業	24,956,000	24,956,000	20,976,456	3,979,54
	高齢者緊急通報装置関係業務	24,426,000	24,426,000	20,848,080	3,577,92
	徘徊高齢者者支援業務	530,000	530,000	128,376	401,62
	認知症高齢者見守り事業(あんしん一声運動業務)	15.824.000	15.824.000	11,937,246	3.886.75
在皇医	療・介護連携推進事業費	41,407,000	41,407,000	41,402,424	4,57
	在宅医療・介護連携推進事業	41,407,000	41,407,000	41,402,424	4,57
生活支	援体制整備事業費 ※1	0	0	0	1,57
1-71-	協議体運営業務	0	0	0	
	生活支援コーディネーター活動支援	0	0	0	
製知症	総合支援事業費	17,076,000	17,076,000	5,261,030	11,814,97
BO AH ALL	認知症初期集中支援業務	13,491,000	13,491,000	3,720,300	9,770,70
	認知症地域支援・ケア向上業務	3,585,000	3,585,000	1,540,730	2,044,27
地域ケ	ア会議推進事業	977,000	977,000	708,414	268,58
その他諸費	/ A院IEC字不	3,937,000	3,937,000	3.062,550	874,45
	払手数料	3,937,000	3,937,000	3,062,550	874,45
田里又	審査支払手数料	3,937,000	3,937,000	3,062,550	874,45
	地域支援事業費計	1,446,453,000	1,446,453,000	1,234,302,103	212,150,89

^{※1} 上記3事業は令和3年度より重層的支援体制整備事業に移行したため、地域支援事業費での支出額はゼロとなっている。 厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/jigyou/ 参照※2 家族介護用品支給業務は令和3年度より保健福祉事業へ移行したため、地域支援事業費での支出額はゼロとなっている。

介護保険特別会計決算額年度別推移

参考

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	第7期	計画	第8期計画	
保険給付費決算額	32,786,622,838	33,722,271,829	34,912,174,062	35,886,224,053
居宅サービス給付費	13,186,711,294	13,717,135,809	14,372,248,105	15,132,039,927
施設サービス給付費	9,457,218,589	9,652,734,400	10,006,331,021	10,064,694,190
地域密着型サービス給付費	4,894,323,111	4,896,118,195	4,977,619,606	5,036,676,382
その他給付費	2,660,125,090	2,810,187,270	3,020,623,368	3,215,707,339
予防給付費(居宅)	416,823,346	393,749,315	401,243,204	395,064,700
予防給付費(地域密着)	21,811,085	25,005,751	24,260,257	19,152,402
予防給付費(その他)	239,853,201	242,541,497	262,710,103	285,705,916
高額介護サービス費	892,434,828	956,226,837	962,621,390	961,397,691
高額医療合算サービス費	128,993,790	133,189,399	134,860,790	140,009,041
特定入所者介護サービス費	860,311,004	866,757,656	719,343,968	603,864,165
審査支払手数料	28,017,500	28,625,700	30,312,250	31,912,300
地域支援事業費決算額	2,040,864,955	1,935,735,744	1,226,767,383	1,234,302,103
介護予防・日常生活支援総合事業費 ※1	1,249,918,522	1,112,289,021	1,109,920,257	1,111,403,668
うち訪問型サービス費	262,794,802	261,338,639	257,971,870	232,333,903
うち通所型サービス費	794,212,063	677,476,337	690,732,894	714,309,357
うち一般介護予防事業費	58,776,097	51,987,806	43,278,117	49,629,851
包括的支援事業費 ※1	602,567,311	637,906,675	1,051,804	892,429
任意事業費 ※1	118,269,628	106,084,130	65,632,741	71,571,588
在宅医療·介護連携推進事業費	40,153,500	40,629,100	40,640,682	41,402,424
生活支援体制整備事業費 ※1	21,095,058	29,889,122		_
認知症総合支援事業費	5,402,286	5,733,296	5,649,783	5,261,030
地域ケア会議推進事業 ※2	-		751,666	708,414
その他諸費(審査支払手数料)	3,458,650	3,204,400	3,120,450	3,062,550

^{※1} 令和3年度より一部事業を重層的支援事業、保健福祉事業として実施しているため、地域支援事業としての決算額は減少している。

^{※2} 令和3年度より重層的支援体制整備事業創設による地域包括支援センター事業の一般会計への移行に伴い、地域ケア会議関係費用を、地域ケア会議推進事業として設定。